

広域消防運営計画 修正箇所

頁	項目	行数	修正前	修正後
	はじめに	8行目	秋田県においては、	また、秋田県においても、
		11行目	これを受け、男鹿地区消防本部と湖東地区消防本部を構成する	こうした状況を踏まえ、男鹿地区消防本部と湖東地区消防本部を構成する
		14行目	対象地域の総人口は2045年には、2025年の約60.9%まで減少することが推計されており、	対象地域の総人口は2045年には、2025年の約6割まで減少すると推計されており、
		17行目	しかし、その一方で、消防に関しては、	七か七、 その一方で、消防に関しては、
1	構成市町村の概要 （3）八郎潟町の概要	2行目	県内では積雪が少ない地域で、自然災害が少ない地域でもある。	県内では積雪が少なく、自然災害も少ない地域である。
7	消防を取り巻く状況 （1）人口減少と高齢化の進行	2行目	66,372 人を 100 とした場合、	66,372 人を 100% とした場合、
		8～9行目	行財政上の様々なスケールメリットを最大限に活用する必要がある。	行財政上の様々なスケールメリットを最大限に発揮する必要がある。
8	消防を取り巻く状況 （2）救急需要	1行目	2,914 人を 100 とした場合、	2,914 人を100% とした場合、
		4～5行目	救急需要も人口減少に比例し、減少することが推計されているが、高齢化の進展により、人口の減少率に比べて救急需要の減少率は低くなっている。	救急需要も人口減少に比例し減少するが、高齢化の進展により、人口の減少率に比べて救急需要の減少率は緩やかになる。